

2022 年度実施概要

教育委員会名

北海道羅臼町教育委員会

採択活動名

知床学（海洋教育）「地域の海を守るために私たちができること」

取り組みの概要

- 1 地域版海洋リテラシーに基づくカリキュラム開発と授業の公開、実践事例の公開状況

羅臼町版海洋リテラシーとして、別添の羅臼町副読本『知床学』幼稚園・小学校 1・2 年生用、「羅臼町副読本『知床学』小学校 3～6 年生用（羅臼町版海洋教育の読み物『私たちの知床と海』）」、「羅臼町副読本『知床学』中学生～高校生用」を作成した。

副読本の完成が本年度末であったため、カリキュラム開発並びに授業の公開については、次年度からの取組となる。
- 2 副読本の活用状況

昨年度、北海道海洋教育推進協議会が作成した「【北海道版】海洋教育の副読本わたしたちの海～海と人との共生を目指して」を活用して、小学校の知床学の指導計画に位置付け、授業実践を行った。

来年度からは、1 で記述した副読本を活用する。
- 3 海洋教育の展開に関する課題解決に関する活動内容
 - (1) 課題 1 幼小中高において、取組内容が重複していること
 - ☞身に付けさせたい資質能力を整理し、学習指導要領の内容や発達段階に応じて学習する内容と繰り返し学習する内容を整理した。また、副読本を作成し、内容の系統性をもたせた。
 - (2) 課題 2 ヒグマの生態や植生の変化など陸の扱いに苦慮していること
 - ☞世界自然遺産知床と海洋教育を関連させ、海、川、山を一体として捉えるよう副読本の内容に織り込んだ。
 - (3) 課題 3 海洋教育の効果が図られているのかどうか分からないこと
 - ☞海洋教育の推進に係るアンケートを実施して、実態を把握した。
 - (4) 課題 4 子どもたち自身が海洋教育を行っているという実感が乏しいこと
 - ☞知床学士試験を実施し、認定バッジや認定カードを配布した（高校生 65 名受験、合格 9 名）。
- 4 地域・保護者を対象とした説明会等の実施状況
 - (1) 12 月 9 日に第 11 回羅臼町ユネスコスクール研究発表会(兼海洋教育成果発表会)を知床未来中学校において開催した。発表は町内全幼稚園・小学校・中学校・高校が行った。コロナウイルス感染症対策のため、町民・保護者向けに Youtube により、同時配信を行った。



(2) パイオニアスクールプログラム沖縄交流会成果発表会を、2月1日に羅臼小学校、2月4日に春松小学校、3月13日に知床未来中学校で、地域住民。保護者を招いて行った。

5 公開授業研究会の実施状況

11月22日に羅臼町幼小中高一貫教育推進協議会公開研究会を春松小学校で開催し、北海道教育大学釧路校境ゼミの協力による海洋教育（津波）の授業を行った。



6 他地域の教員を対象とした教員研修会の実施状況

7月26日に北海道教育大学名誉教授・北海道地方ESD活動支援センターESDアドバイザー大津和子氏をお招きし、「ESDをさらに推進するために～主体的・対話的で深い学びを～」について研修会を行った。

町内から幼稚園・小学校・中学校・高校教諭68名、町外から5名の教諭、教育委員会職員が参加し、学びを深めた。



7 その他教育委員会としての取り組み

1月13日にパイオニアスクールプログラム沖縄交流会を沖縄県西表島実施した。本町からは、羅臼小学校・春松小学校の代表各1名と、知床未来中学校の代表2名が参加し、海洋教育の成果を発表した。

また、西表島からは、上原小学校、西表小学校、西表中学校、船浦中学校の4校から発表があった。

日本最北端と最南端の世界自然遺産登録地域の交流となり、南北での海の植生の違いや生物の違い、気候の違い、海洋ゴミの違い等を直に学習する機会となり、非常に有意義な交流となった。



活動参加校名

1. 羅臼町立羅臼幼稚園
2. 羅臼町立春松幼稚園
3. 羅臼町立羅臼小学校
4. 羅臼町立春松小学校
5. 羅臼町立知床未来中学校
6. 北海道羅臼高等学校
7.

活動中の写真を2～3枚以上、画像ファイルにてご提出をお願いします。

Wordに貼り付けた場合も 元データの画像ファイルを提出してください。

フォルダにまとめ、ファイル名をどんな活動をしている際の写真なのかわかるよう変更してください。

フォルダ名は「2.実施概要_写真_〇〇学校」としてください。

ご提出いただいた写真はwebサイト等で使用いたします。肖像権、著作権等にご留意ください。